田瀬ダム技術支援見学会　概要　令和8年4月14日(火)

技術支援見学会概要

国直轄施工第1号として着工し、完成後７０年を迎えた田瀬ダム。田瀬ダムの魅力再発見・専門性の高い土木技術に関わる技術伝承、地域の担い手確保を目的とした人材育成に繋がる技術支援見学会を令和７年度から開始した。　⇒　「待ち受け型」から実践的な【呼び込み型】への転換

今年度、第1号として開催趣旨に賛同され、兼ねてより度々、水害被害に見舞われその対策に苦慮されてきた岩手県建設業協会一関支部に対して技術支援見学会をR8.4.14 に開催。

現場第一線で活躍する会員各社の技術者が集結し、特に要望が強かったコンクリートの品質確保を主体に一関市における河川特性から見える流域治水や来るべき災害に備えた防災教育等について、経験談を踏まえ技術力の向上に資する為の情報共有を行った。

講習会の内容

■実施日：令和8年4月14(火)AM9：30～PM3：00
参加者＿18名(12社＋事務局)、取材_(株)日刊岩手建設工業新聞社
■プログラム：

午前
- 田瀬ダム(概要説明)、ダム施設説明(監査廊内)(90分) 担当：支所長
- 操作室案内(20分) 担当：電通担当職員
- 座学(流域治水)(40分) 担当：支所長



紹介_ダムレンジャー
(田瀬＿田瀬ブルー)

午後
- 座学(コンクリートの品質確保)フレッシュコンクリート、硬化コンクリート(90分) 担当：支所長
- 意見交換(30分) 担当：支所長

実習状況



技術支援見学会は、参加者の多くから《役に立った》、《意識変化があった》、《技術支援が必要》と判断されたため、**【一定の効果はあった】**と判断される。

田瀬ダム技術支援見学会

○国直轄施工第1号　○国内初高圧スライドゲート採用「機械遺産認定」　○北上川上流総合開発ダム群「推奨土木遺産認定」 等
《田瀬ダム：国内初AEコンクリート採用》

技術・知見を生かした人材育成(技術伝承)が可能

組合せ可能(柔軟)な専門性の高い技術支援見学会が実施可能

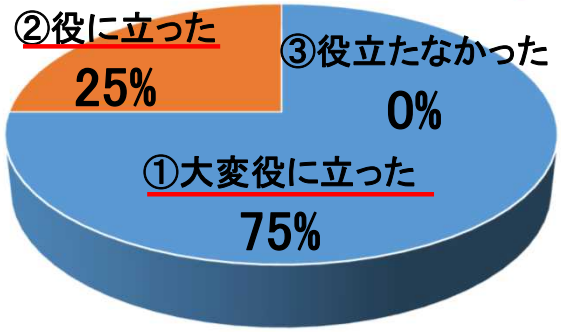
アンケート調査結果（１）

アンケート（18名）

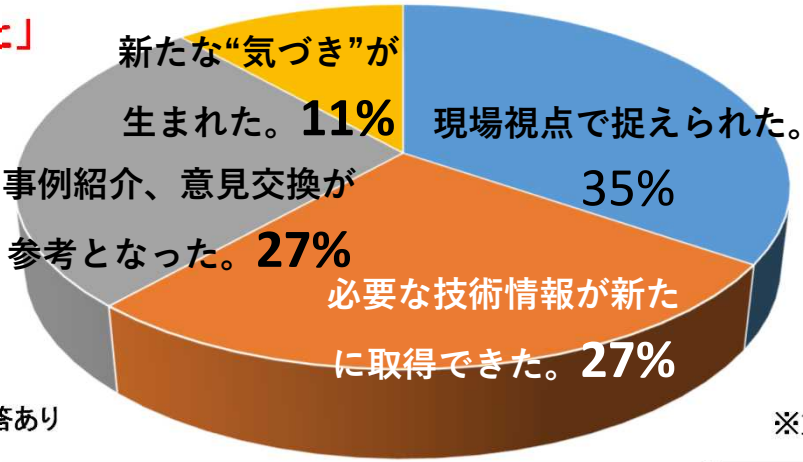
事後評価の一環として、アンケート調査を実施。忌憚の無い意見を頂戴しました。

【１】 現場見学会の効果

⇒ 参加者全員が「役に立った」



理由

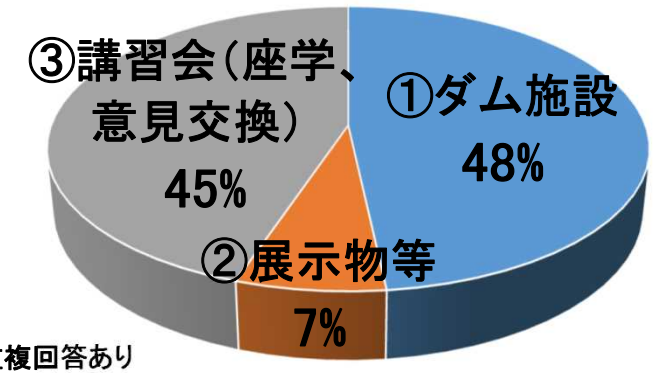


※重複回答あり

≪自由回答≫

- コンクリート工事の要点が参考になった。
- 普段はプラントに任せ、言いなり状態なので、自ら材料に触れ、試験を行ってみる事も必要と感じた。
- コンクリートの施工不良の対策が良く解った。

【２】 特に良かった所、関心があった所は？



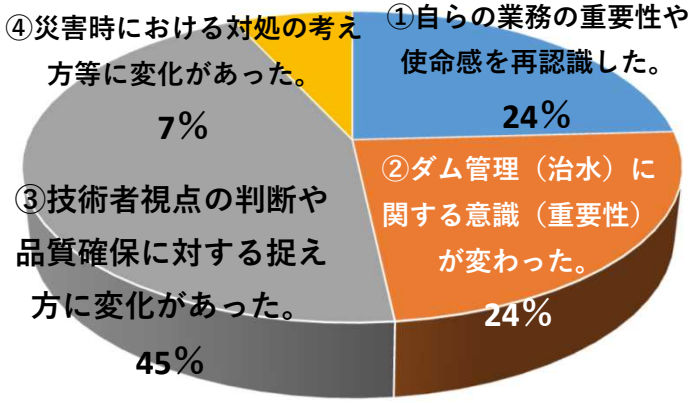
※重複回答あり

７０年間、その機能　（洪水調節、灌漑用水、発電）を果たす田瀬ダム施設に関心があったという回答が多かった。

【３】 技術見学会後の意識変化は？

- 変化があった（17名）
- どちらともいえない（1名）

どのような 意識変化？



※重複回答あり

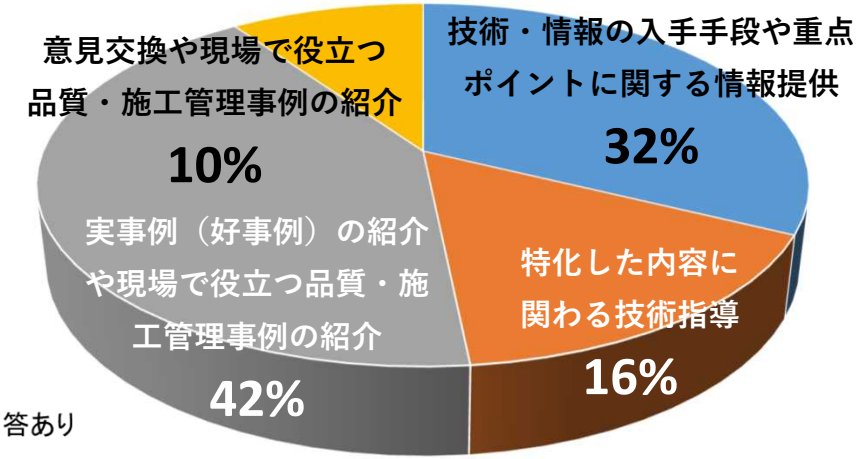
≪自由回答≫

- 品質管理の重要性を再認識した。
- 現役最古のダムという事で視点が変わった

【４】 田瀬ダムにおける技術支援の必要性は？

⇒ 必要である（16名）、どちらでも良い（2名）

具体的に必要なものは？



※重複回答あり

アンケート調査結果（２）

アンケート（18名）

【5】カリキュラムについて（参考となりましたか？）
・現地実習、座学（講習、意見交換）とも参考になった。　17名

【6】その他（要望等）
・実習内容は同じで構わないので、繰り返し見学したい。　3名
・意見交換の時間を増やしてほしい。　1名
・**他のダムも特色を生かした技術講座を開催してほしい。11名**
・出前講座をお願いしたい。　7名
・特になし　3名

≪自由回答≫

・具体的にどの様な技術（出前）講座を行って頂けるのか。リスト等貰えると選択肢の中から希望する出前講座を選び、是非またお願いしたいと思った。本日は、田瀬ダム職員の皆様、ご指導ありがとうございました。
・入社５年程度の若手技術者に受講させれば、非常に参考となると感じた。自分自身も技術伝承に注力していきたい。

～支所長から～

令和8年度第1回目の田瀬ダム技術支援見学会に岩手県建設業協会一関支部から多数の技術者が参加され、ありがとうございました。

本件の要請を受ける際の課題として、特にコンクリートの品質確保に関して、その重要性を具体に可視化・言語化を含めた説明を求められました。

かなりハードな要請ではありましたが、皆様に少しでも“気づき”が生まれるよう一関地域独特の河川特性を丁寧に説明し、《来るべき災害に備え》“今すべきこと”を説明したうえで、品質確保の意義について再考頂きました。

積極的な「対話・協働」が大事で、皆様と一緒にやれることから始めたいと考えております。今後も基礎知識習得の為に、《人材育成の場》として、田瀬ダムを活用下さい。

集合写真



実習状況



監査廊内



操作室





まもなくダム印、貯蔵ワイン等が解禁となります。乞うご期待！